

## 新バイオファミリー7期生を迎えて 「縦コン2012」開催

今年度、応用バイオ科学科は132名の新入生を迎えました。第7期生の誕生です。

4月12日、上級生が幹事役となって新入生を歓迎する恒例の「縦コン」を第1食堂で開催しました。学部2～4年生、大学院生、教職員が駆けつけ、300名を超える盛大な歓迎会となりました。バイオファミリーは同級生と教職員だけではなく、先輩を気にかけて、応援する多くの先輩がいます。先輩たちのそんな思いが伝わるイベントでした。



料理を前に話はずみです



全員で記念撮影!

## フレッシューズキャンプ2012

4月6日、7日の2日間、白子温泉(千葉県)に宿泊して、新入生同士の親睦を深めました。初日は、あまり打ち解けた雰囲気も少なく、緊張した面持ちでバスに乗り込みました。横浜キリンビール工場見学、宿泊地でのクラス会、翌日のパークゴルフを終え、帰途に着くバスの中では、友達ができたのか、バスの中もにぎやかになりました。先輩の学生TAと教員は、新入生以上に楽しんだのは言うまでもありません。



夜にはうち解け笑顔も



青空の下での集合写真!

## 2011年度成績優秀者の表彰

新学期のガイダンスに合わせて、昨年度の成績優秀者の表彰が行われました。

新4年生からは、大嶋未来也さん、池永皓祐さん、小坂裕さんが、新3年生からは山隆仁さん、畑山靖佳さん、野島政宜さん、坪浦実咲さんが、新2年生からは諸星希美さん、八木悠人さん、西澤真代さんが選ばれ、合計10名に表彰状と記念品が授与されました。ますますの活躍を期待しています。

## 新教育体系・ユニットプログラム始まる

「講義で学んだことが実際に役立っている」という感覚が、学生の学習意欲向上につながるという考えに基づき、講義科目と実験科目を融合させた「化学・生物学基礎ユニットプログラム(1年前期)」を今年度からスタートさせています。このプログラムにより、学習の定着率が上がることが期待できます。



化学・生物学の基礎を学習



講義で学んだことをいざ実践

## 新任のご挨拶

はじめまして。新潟大学自然科学系より応用バイオ科学科に着任した岩本嗣です。もともと出身は神奈川県大磯町で、平塚江南高等学校卒業以来、長らく離れていた故郷に戻って参りました。これまで、バイオテクノロジーを利用した植物の機能改変に関する研究を中心に、遺伝資源の収集、無病苗の育成、種苗の効率的な増殖、特性評価、生育制御、育種など、「ラボからフィールドまで」を合い言葉に、植物に関する幅広い分野の研究に携わってきました。着任後は、これまでの経験を活かし、研究を発展させるだけでなく、植物バイオの分野で活躍できる人材を社会に輩出できるよう、教育に貢献したいと考えています。どうかよろしくお願いたします。

### 【担当授業科目】

植物バイオテクノロジー、植物細胞工学特論、情報リテラシー、スタディスキル、バイオ実験Ⅱ、機器分析実験Ⅱ、バイオ総合演習Ⅱ、応用バイオ科学ゼミ

### 【専門分野】

植物バイオテクノロジー



応用バイオ科学科 准教授  
岩本 嗣

## バイオファミリーの 留学志向強まる!

米国ワシントン州シアトルにあるサウスシアトルコミュニティカレッジに1ヶ月間滞在し、語学研修と実験中心のバイオ研修を行うプログラム(海外バイオ研修Ⅰ)に、昨年度は過去最多の19名(4年生の飯嶋大さん、3年生の長島博揮さん、平澤麻奈美さん、平野恭兵さん、姥名将義さん、吉田亮さん、赤堀颯哉さん、西村友汰さん、登内哲央さん、川上勇希さん、富山寛子さん、畑山靖佳さん、新倉正之さん、高木俊次さん、齋藤宇伸さん、有城聡志さん、田中傑さん、2年生の安達 稔さん、池永正弘さん)が参加しました。「外の世界」に出かける学生が増えているのは、頼もしい限りです。



海外バイオ研修Ⅰを終えて

4月1日付けで応用バイオ科学部応用バイオ科学科に着任しました。富取秀行と申します。出身は薬学部で、これまでは薬学部や医学部で教育や研究に従事してきました。大学時代から一貫して、生命に必須の物質である「ポリアミン」という物質や、その分解産物である「アクロレイン」という物質の生理機能に関する研究を進めています。今後は、今までの研究成果を基に、病気や老化のメカニズムを明らかにしようと考えています。また、これらの研究で得られた成果で、医療現場に役立つようなツールを開発し、健康増進に貢献したいと考えています。学生の皆さんと一緒に、日々楽しく、そして真剣に過ごすことができれば幸いです。宜しくお願い致します。

### 【担当科目名】

化学・生物学基礎ユニットプログラム、バイオ工学基礎、バイオ実験Ⅳ、動物バイオテクノロジー、分析化学、バイオ総合演習Ⅱ

### 【専門分野】

「ポリアミン」という生命に必須の物質が、体の中でどのような役割を果たしているかを、遺伝子のレベルで明らかにしています。また、ポリアミンやその他の関連物質が、病気や老化現象にどのように関わっているかを調べています。



応用バイオ科学科 准教授  
富取 秀行